

大阪市の施策全般について

民間ネット調査(令和8年2月実施)の結果

【調査目的】

現在、大阪市では「めざす姿」の実現に向け、次の取組を重点的に推進しています。

《めざす姿》

一人ひとりが多様な幸せ(ウェルビーイング)を実感でき、誰もが安心していつまでも住み続けたいと思う「にぎやかで活気あふれるまち大阪」の実現をめざしています。

- ・ すべての子どもの安全・安心が守られ、どのような家庭環境、経済状況であっても、子どもたちが分け隔てなく大切にされ、夢を追い求めることができるよう、日本一の子育て・教育サービスを実現する。
- ・ 府市一体で万博のレガシーを継承する新たな成長戦略の取組を実行し、大阪の成長・発展を確たるものにするともに、日本経済の成長に着実に結び付けていく。
- ・ 本市を取り巻く状況や社会経済情勢の変化に対応した、持続可能な行財政基盤を構築する。

① 子育て・教育環境の充実【下記リンク2～18ページ】

0～2歳児の保育料無償化に向けた取組、待機児童対策、在宅等育児への支援、不妊治療費等助成、産後ケア、学力向上支援、学校教育におけるICT活用、教職員人材の確保・育成、習い事・塾代助成、児童虐待防止対策、ヤングケアラー支援、こどもの貧困対策、いじめ・不登校対策 など

② 暮らしを守る福祉等の向上【下記リンク19～24ページ】

特別養護老人ホームの整備、認知症高齢者支援、障がい者施策の充実、生活困窮者等への支援、地域福祉推進体制の充実、市民の健康づくりの推進、ひきこもり支援、若者・女性の活躍推進、多文化共生の推進、繁華街における来街者の安全の確保 など

③ 経済成長に向けた戦略の実行【下記リンク28～42ページ】

大阪・関西万博の開催、IRを含む国際観光拠点の形成、御堂筋の側道歩行者空間化、文化振興、スポーツ振興、イノベーション創出、中小企業の総合的支援、国際金融都市の推進、MICE誘致の推進、SDGsの推進、脱炭素化の推進、「知の拠点」の形成(大阪公立大学、国際感染症研究センター) など

④ 都市インフラの充実【下記リンク43～46ページ】

うめきた2期区域・新大阪駅周辺・大阪城東部地区・夢洲のまちづくり、淀川左岸線延伸部の整備、なにわ筋線の整備、交通環境の充実(可動式ホーム柵の整備促進ほか) など

⑤ 防災力の強化【下記リンク47～49ページ】

災害救助物資の備蓄、小学校の体育館等への空調機整備、堤防等の耐震対策、持続可能な上下水道システムの構築、気候変動等による水害への備え、密集住宅市街地整備、個別避難計画の作成 など

これらの主な具体的施策について、ご意見をお聞きし、今後の参考とすることを目的としています。

【調査期間】

令和8年1月26日(月曜日)～ 1月29日(木曜日)

【留意点】

※質問文及び選択肢などの長い文章については、簡略化して表示している場合があります。

※数値(%)は、各実数を元に比率表示し、小数第2位を四捨五入しています。

したがって、内訳の合計が全体の計に一致しないことがあります。

※本アンケートの回答者は民間調査会社に登録するインターネットモニターであり、回答者の構成は無作為抽出サンプルのように「市民全体の縮図」ではありません。そのため、調査結果は、「市民全体の状況」を示すものではなく、あくまで本アンケートの回答者の回答状況にとどまります。

【回答者数と内訳】

●回答者数 600名

●回答者の性別

年代	人数	割合
男性	295	49.8%
女性	299	49.5%
その他	6	0.7%
合計	600	100.0%

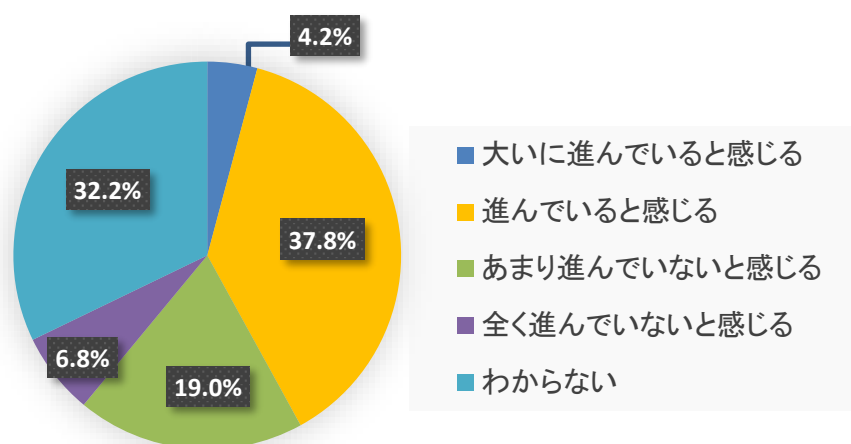
●回答者の年代

年代	人数	割合
18歳～29歳	100	16.7%
30歳～39歳	100	16.7%
40歳～49歳	100	16.7%
50歳～59歳	100	16.7%
60歳～69歳	100	16.7%
70歳以上	100	16.7%
合計	600	100.0%

【結果の概要】

問1 「子育て・教育環境の充実」が進んでいると感じられますか。

令和7年度の回答結果	回答者全体 (600名)	
大いに進んでいると感じる	25	4.2%
進んでいると感じる	227	37.8%
あまり進んでいないと感じる	114	19.0%
全く進んでいないと感じる	41	6.8%
わからない	193	32.2%
合計	600	100.0%



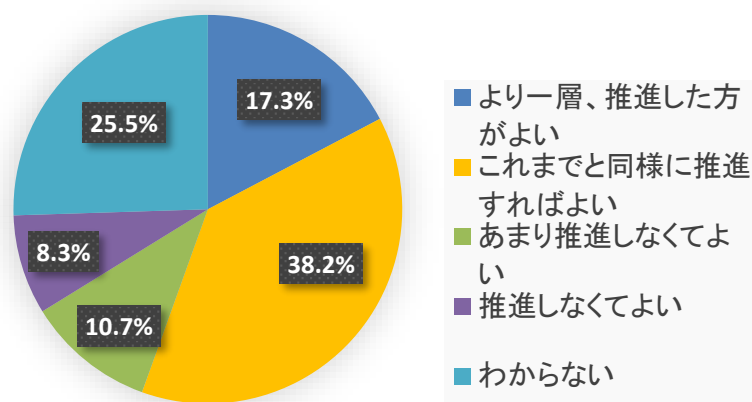
昨年度の回答結果	回答者全体 (600名)	
大いに進んでいると感じる	37	6.2%
進んでいると感じる	223	37.2%
あまり進んでいないと感じる	153	25.5%
全く進んでいないと感じる	43	7.2%
わからない	144	24.0%
合計	600	100.0%

【調査結果】

「大いに進んでいると感じる」、「進んでいると感じる」と答えた方が42.0%、「あまり進んでいないと感じる」、「全く進んでいないと感じる」と答えた方が25.8%となっており、4割以上の方が進んでいると答えている。なお、昨年度と比較すると1.4ポイント減少している。

問2 今後、「子育て・教育環境の充実」について、どのようにすればよいと思いますか。

令和7年度の回答結果	回答者全体 (600名)	
より一層、推進した方がよい	104	17.3%
これまでと同様に推進すればよい	229	38.2%
あまり推進しなくてよい	64	10.7%
推進しなくてよい	50	8.3%
わからない	153	25.5%
合計	600	100.0%



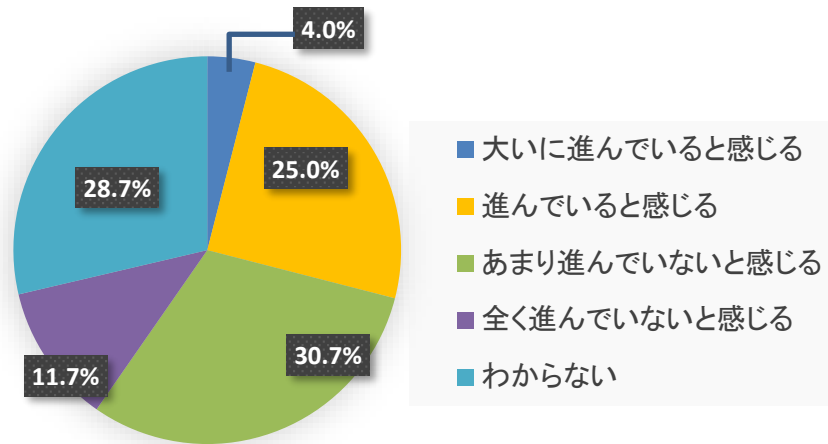
昨年度の回答結果	回答者全体 (600名)	
より一層、推進した方がよい	164	27.3%
これまでと同様に推進すればよい	230	38.3%
あまり推進しなくてよい	67	11.2%
推進しなくてよい	33	5.5%
わからない	106	17.7%
合計	600	100.0%

【調査結果】

「より一層、推進した方がよい」、「これまでと同様に推進すればよい」と答えた方が55.5%、「あまり推進しなくてよい」、「推進しなくてよい」と答えた方が19.0%となっており、5割以上の方が推進した方がよいと答えている。なお、昨年度と比較すると10.1ポイント減少している。

問3 「経済成長に向けた戦略の実行」が進んでいると感じられますか。

令和7年度の回答結果	回答者全体 (600名)	
大いに進んでいると感じる	24	4.0%
進んでいると感じる	150	25.0%
あまり進んでいないと感じる	184	30.7%
全く進んでいないと感じる	70	11.7%
わからない	172	28.7%
合計	600	100.0%



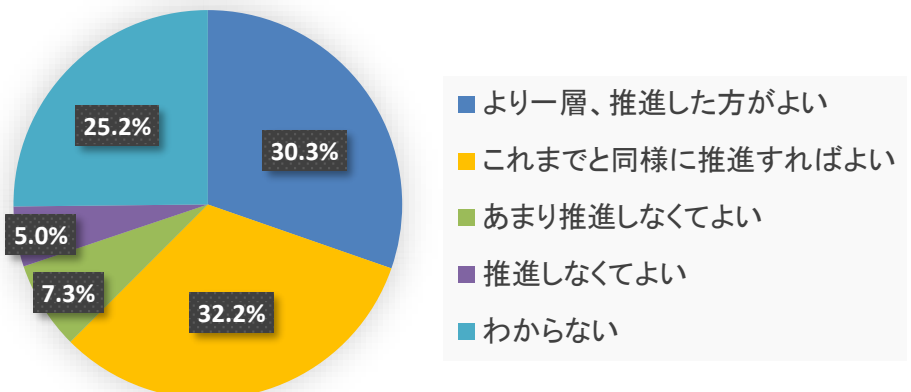
昨年度の回答結果	回答者全体 (600名)	
大いに進んでいると感じる	24	4.0%
進んでいると感じる	171	28.5%
あまり進んでいないと感じる	218	36.3%
全く進んでいないと感じる	79	13.2%
わからない	108	18.0%
合計	600	100.0%

【調査結果】

「大いに進んでいると感じる」、「進んでいると感じる」と答えた方が29.0%、「あまり進んでいないと感じる」、「全く進んでいないと感じる」と答えた方が42.4%となっており、約3割の方が進んでいると答えている。なお、昨年度と比較すると3.5ポイント減少している。

問4 今後、「経済成長に向けた戦略の実行」について、どのようにすればよいと思いますか。

令和7年度の回答結果	回答者全体 (600名)	
より一層、推進した方がよい	182	30.3%
これまでと同様に推進すればよい	193	32.2%
あまり推進しなくてよい	44	7.3%
推進しなくてよい	30	5.0%
わからない	151	25.2%
合計	600	100.0%



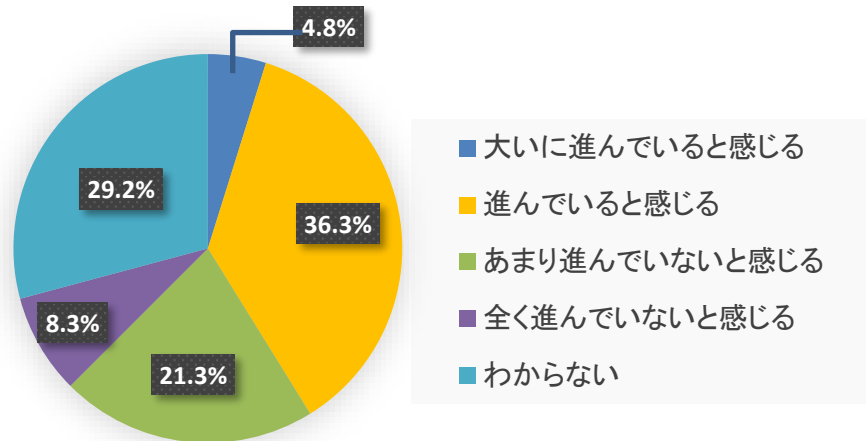
昨年度の回答結果	回答者全体 (600名)	
より一層、推進した方がよい	233	38.8%
これまでと同様に推進すればよい	179	29.8%
あまり推進しなくてよい	57	9.5%
推進しなくてよい	37	6.2%
わからない	94	15.7%
合計	500	100.0%

【調査結果】

「より一層、推進した方がよい」、「これまでと同様に推進すればよい」と答えた方が62.5%、「あまり推進しなくてよい」、「推進しなくてよい」と答えた方が12.3%となっており、6割以上の方が推進した方がよいと答えている。なお、昨年度と比較すると6.1ポイント減少している。

問5 「にぎやかで活気あふれるまち大阪」の実現のための施策が進んでいると感じられますか。

令和7年度の回答結果	回答者全体 (600名)	
大いに進んでいると感じる	29	4.8%
進んでいると感じる	218	36.3%
あまり進んでいないと感じる	128	21.3%
全く進んでいないと感じる	50	8.3%
わからない	175	29.2%
合計	600	100.0%



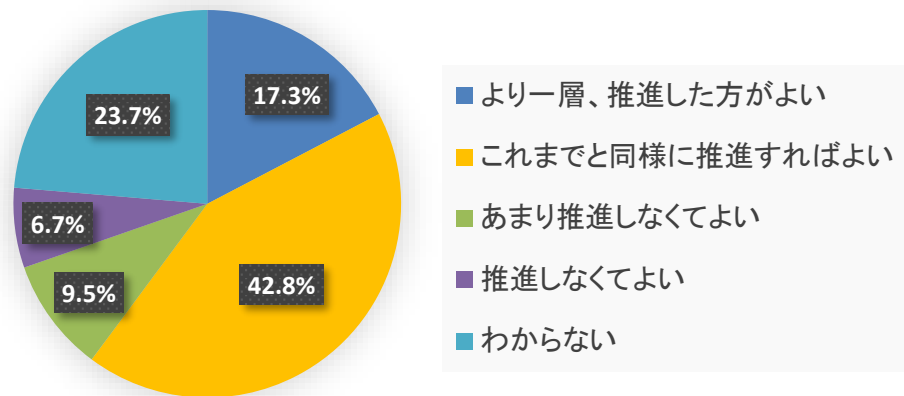
昨年度の回答結果	回答者全体 (600名)	
大いに進んでいると感じる	31	5.2%
進んでいると感じる	240	40.0%
あまり進んでいないと感じる	159	26.5%
全く進んでいないと感じる	54	9.0%
わからない	116	19.3%
合計	600	100.0%

【調査結果】

「大いに進んでいると感じる」、「進んでいると感じる」と答えた方が41.1%、「あまり進んでいないと感じる」、「全く進んでいないと感じる」と答えた方が29.6%となっており、4割以上の方が進んでいると答えている。なお、昨年度と比較すると4.1ポイント減少している。

問6 今後、「にぎやかで活気あふれるまち大阪」の実現のための施策について、どのようにすればよいと思いますか。

令和7年度の回答結果	回答者全体 (600名)	
より一層、推進した方がよい	104	17.3%
これまでと同様に推進すればよい	257	42.8%
あまり推進しなくてよい	57	9.5%
推進しなくてよい	40	6.7%
わからない	142	23.7%
合計	600	100.0%



昨年度の回答結果	回答者全体 (600名)	
より一層、推進した方がよい	146	24.3%
これまでと同様に推進すればよい	235	39.2%
あまり推進しなくてよい	78	13.0%
推進しなくてよい	38	6.3%
わからない	103	17.2%
合計	600	100.0%

【調査結果】

「より一層、推進した方がよい」、「これまでと同様に推進すればよい」と答えた方が60.1%、「あまり推進しなくてよい」、「推進しなくてよい」と答えた方が16.2%となっており、約6割の方が推進した方がよいと答えている。なお、昨年度と比較すると3.4ポイント減少している。